

「若い目」で見た現代

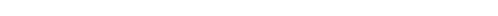


前号の広報『いわむろ』で若い人の声を世代の違う村民の皆さんにも、理解していただき、広く社会に反映させ、実行の段階まで近めることもできるものと信じ掲載しました。直ちに大きな反響が編集担当者のところに返ってきてました。そのフレッシュな考えをいつまでも持ち続けて……。これからは若い人の世代だ、しっかり……男女間の交際と結婚については親の私が心配する必要がない程しっかりしている……金銭の持つ不思議な力についてもっと知る必要があるのではないか?……若い力を明るい村造りに注いで下さい……。前号編集上の不手際でグラフの見方について疑問の点があるとの照会がありましたが、棒グラフの数字は質問事項についての回答人数を示しております。尚、広報『いわむろ』を読んでいますかの質問に対して、①読んでいる78%②ときどき読む18%③ぜんぜん読まない4%の結果がでました。

◎納税の理由について

- | Statement | Percentage (%) |
|--|----------------|
| 1. 国土開発、社会福祉、村道の整備に使って欲しい。 | 29 |
| 2. 万民の納める税金であるから万民のために使って欲しい。 | 34 |
| 3. 村民の税金はもっと大切にし、その使途を明らかにすると共に労働者のために使って欲しい。 | 19 |
| 4. 税金が自分達の生活向上に役立つように使って欲しい。 | 12 |
| 5.郷土は自分達が造り上げ支配しているものと自覚すれば「なぜ納める」という疑問は生れてこないと思う。 | 37 |

◎世界平和について

- | | |
|---|---|
| 1. 強い者と弱い者があるから、争いが起り平和はありえない。 |  15 |
| 2. 原水爆などの兵器が使われる世界では個人が平和を考えてもらうにもならない。 |  34 |
| 3. 国際連合を強化して、侵略国をたたきつぶす。 | |
| 4. 世界国家を作って、世界連邦になれば戦争は起こらない。 |  9 |
| 5. 学校教育、社会教育で平和を愛する人作りをする。 |  35 |
| 6. 人間には競争心、闘争心があるから戦争はさけられない。 |  18 |

◎あなたが今、一番心の中に思っていること、またこれから生活していく上に一番大切な処生訓はどんなことですか？

1. 金や名誉を考えないで自分の趣味、個性にあった生活をする。
 2. 一生懸命働いて金持ちになる。
 3. 今私達はあまりにも、平和の中にひたりすぎている。しかしこ二度とあのような戦争がおこらないようにしたい。
 4. 今の教育はまちがっている。スバルタ教育にするといいと思う。
 5. 男女の交際に対し温い目で見守り正しい方向に導いてほしい。
 6. 毎日を楽しく愉快に自由にくらす。
 7. 世の中の不正をしりぞけて、どこまでも清く正しくくらす。
 8. まじめに勉強して出世をする。
 9. 事業主、労働者の両者がよく話し合って協調し、生産を高め、国力を発展させる。
 10. 村民のどんな小さなことでもとりあげ方法を講じて欲しい。
 11. 大人は金で左右されやすい。
 12. 選挙権は毎いのない人に投票する。

郷土の散歩

この地区は地理的条件に恵まれず、地区内（野積、寺泊漁業地区）結婚が多く、た。稀にザイゴウ（在郷、漁業地区以外の岩室、和納等農耕地域を在郷と呼んだ）からノチゾイ（後妻）を迎え入れることもあつた。

結婚について

を知らないが、たのことはほんとうになかつた。見合は、地区内、隣接町村の結びつきがまだ多く、たせいもあって、殆んど行なわれることもなく、これが行なわれたのは、あまりよく親同志も顔も知らぬ者同志に通婚箇が拡大されてからのことと思われる。昭和に入つて行なわれたようになつた。

され家風に合ひぬのの一言で
婚約解消も度々あつた。
このように『家の嫁』と
して迎えられ、労働力不足
解消として働き、試験期間
を『あしいれ』『カケ』と
言った。当然祝言まで子供
が数人いることもあつた。

両親一同、仲人左衛門には嫁の手渡しとなる。次は嫁贈添女、供奉の手渡しとなる。酒宴には仲人が喜んでいたい唄を歌つてから誰彼となく歌い出す。宴の終るのは大抵翌日の一時頃となる。全員に廻ったたらお開きになる。客の引出物は座敷に座る。粉菓子、鯛、鮭、鶴亀えび、松竹梅などで、仲人や供人で祝儀が出た。

